

あす か きゅうせき
「飛鳥宮跡」について調べよう

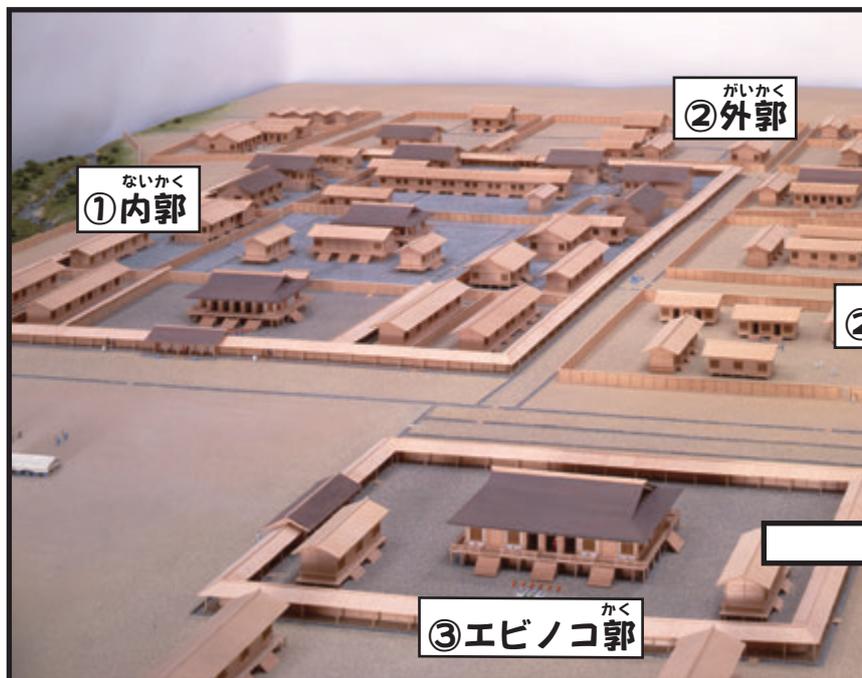
あすか かくやま
 飛鳥は香久山(香具山)の南、飛鳥川東岸の東西0.5km、南北1kmという
 せまい地域です。『日本書紀』によると、592年に推古天皇が豊浦宮で位につ
 き、それからおよそ100年間にわたって宮(天皇の住まい、政治の中心)は、
 ほぼこの飛鳥におかれ、天皇を中心とした国づくりが進められました。

次の航空写真は、飛鳥の地を南東上空から撮影したものです。

- ①「飛鳥宮跡」の位置を で囲みましょう。
- ②() に山・寺院・古墳の名前を書きこみましょう。



第3展示室にある「飛鳥の宮」の模型は、673年に位についた天武天皇の「飛鳥浄御原宮」という宮殿を、これまでの発掘調査の結果をもとに復元したものです。



※「郭」とは、壁などで囲まれた場所のことです。



それぞれの「郭」を①～③の番号で答えましょう

- 天皇が公的な儀式を行う。 → ()
- 天皇が暮らしている。 → ()
- 役所の建物が並んでいる。 → ()

【ヒント】
タッチパネル⑥
「模型を見る」で調べてみよう。

模型をよく見て、気がついたことをまとめましょう。

☆飛鳥宮跡についてもっと知りたい人は「映像(ビデオ)ライブラリー」にも行ってみよう!

「分野」→「すまい・都市」→「宮と京(1)」の順番に画面にタッチ

「時代」→「飛鳥時代」→「復元・飛鳥の宮」か「復元・エビノコ郭」の順番に画面にタッチ

「分野」→「すまい・都市」→「飛鳥の宮 復元制作記録」か「エビノコ大殿 復元制作記録」の順番に画面にタッチ